

20:18 民はみな、雷と、いなずま、角笛の音と、煙る山を目撃した。民は見て、たじろぎ、遠く離れて立った。

20:19 彼らはモーセに言った。「どうか、私たちに話してください。私たちは聞き従いません。しかし、神が私たちにお話しにならないように。私たちが死ぬといけませんから。」

20:20 それでモーセは民に言った。「恐れてはいけません。神が来られたのはあなたがたを試みるためなのです。また、あなたがたに神への恐れが生じて、あなたがたが罪を犯さないためです。」

20:21 そこで、民は遠く離れて立ち、モーセは神のおられる暗やみに近づいて行った。

20:22 主はモーセに仰せられた。「あなたはイスラエル人にこう言わなければならない。あなたがた自身、わたしが天からあなたがたと話したのを見た。

20:23 あなたがたはわたしと並べて、銀の神々を造ってはならない。また、あなたがた自身のために金の神々も造ってはならない。

20:24 わたしのために土の祭壇を造り、その上で、羊と牛をあなたの全焼のいけにえとし、和解のいけにえとしてささげなければならない。わたしの名を覚えさせるすべての所で、わたしはあなたに臨み、あなたを祝福しよう。

20:25 あなたが石の祭壇をわたしのために造るなら、切り石でそれを築いてはならない。あなたが石に、のみを当てるなら、それを汚すことになる。

20:26 あなたは階段で、わたしの祭壇に上ってはならない。あなたの裸が、その上にあらわれてはならないからである。

イスラエルの民は恐怖に打たれました。これも大切なことで、私達も神様を恐ろしいと思うことが必要です。しかし、それで終わるのではなく、その恐れ多いお方が、自分のために犠牲になるほどに愛して下さったと知ることがもっと重要です。しかし、この神を恐れることを知らないと、本当の愛が分からないのです。

その神を最も恐れているこのときに、偶像の禁止が語られました。それほど偶像は問題なのだと思ふ必要があります。偶像は私達を神から引き離してしまうものだからです。

心の中に神以外のものを、神の代わりにしていいのでしょうか。神以外のものに頼ったり、従ったりしていいのでしょうか。心の偶像を取り除きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

